

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本雅代
全体計画	平成29年度 ~ 平成31年度			経費区分	-			内線	3613		
事務事業名	4256 不登校児童生徒支援事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費									
	事業	030000 不登校児童生徒支援事業									
事業目的						事業概要・効果					
不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員等を配置し、問題解決に努める。						不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、相談を受けたり、学習室や相談室などにおける支援を行い、不登校や学級不適應の原因の究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行う等、学校内・家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行なうことで、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行なうことで、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行なうことで、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。	不登校や学校を休みがちな児童生徒、学級に入れない児童生徒に対し、学習室や相談室などにおける支援を行い、原因の究明、安心できる居場所づくりを行なうことで、多くの児童・生徒の心の安定が得られた。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員を配置し、問題解決に努める。	不登校や学級不適應などの児童生徒に対応するため、不登校児童生徒支援員を配置し、問題解決に努める。

指標名	不登校児童生徒の割合						
算式						単位	%
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標		小0.44 中3.03	小0.42 中2.92	小0.4 中2.8		
	実績		小1.00 中3.21				
指標選定の理由	不登校に対する対策を目的としているから						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		21,567	22,716
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	9,000
一般財源		21,567	13,716
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.6	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,145.0	2,145.0
	嘱託職員	1,725.0	1,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,870.0	3,870.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,437.0	26,586.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	55	中間教室消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	21,512	Q-U検査手数料 知能検査手数料 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	20	子育て支援セミナー講師謝礼
11節 需用費	105	中間教室消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22,591	Q-U検査手数料 知能検査手数料 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	不登校児童生徒支援員を各中学校に配置し相談事業を行うことで、児童生徒の穏やかな成長や心の安定を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	不登校や学級不適應の原因究明、児童生徒の安心できる居場所づくりを行うなど、学級内、家庭と連携しながら、学校への登校、学級への復帰を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	不登校・ひきこもり講演会及び個別相談会（子育て支援セミナー）の実施。 不登校児童生徒支援員等の情報交換会の開催。 校区別登校支援会議の開催。 各種研修会への参加。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

校区別支援会議の開催により、登校支援コーディネーターが中心となり組織として取り組みが行えた。中間教室の有効利用と学校・中間教室の連携強化

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

個々に寄り添ったきめ細かい支援により、児童生徒の健やかな成長や心の安定を図るために必要な事業

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

児童生徒の学ぶ権利を保障するためにも不登校対策は最重要施策

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--